

これは不幸の手紙です。

この手紙に書かれたルールを守らなかった場合、不幸が訪れることでしょう。

信じられないかもしれませんが、ルールを完全に無視し手紙を止めてしまった佐藤さんは事故で死に、いまでも幽霊になってさまよい続けています。また、他のルールを守らなかった人々も不幸になっています。例えば、山田さんは突然の病気にかかり、田中さんはおかしなことを口走るようになりました。これらの出来事は偶然ではなく、この手紙の呪いによるものだとされています。

この手紙を受け取ったあなたも、同じ運命をたどるかもしれません。しかし、指示に従えば、呪いを避けることができます。次の7つのルールを守ってください。

- ・不幸の手紙を今から1週間以内に7人に送ってください。
- ・この手紙の文面を熟読してください。
- ・手紙を書く時は必ず手書きで書いてください。
- ・この手紙の文面を一切変えないで

## 不幸のルール

**【難易度】**：5

**【期限】**：平日5日（月曜～金曜）、1日1シーン。

**【雰囲気】**：不幸の手紙×7つのルール×人間関係

**【トーン】**：PG12

## 【状況】

目標：7つのルールが、なぜ4つしか書かれていないのか調べる。

ある日、〔生徒〕の1人に手紙が届いた。その文面は前頁のようなものだった。奇妙なことに手紙の文面は途中で終わっているのだ。

これを話したところ、驚くことに他の〔生徒〕も受け取ったと言う。筆跡こそ違うものの、文面はやはりルール説明のところで終わっていた。

残りのルールとは何か？ なぜ文面は途中で終わっているのか？  
あなたがたはこの謎に取り組むことを決意した。

## 【今いる場所】

学校の食堂。

## 【問い】

始めに「手紙を受け取った」と言ったのは誰か、その〔生徒〕はそのことをどう切り出すか。そして他に受け取った〔生徒〕は誰なのか。

♥ 【場所】

### A：教室（2階）

壁にはカレンダーや学年便り、クラスの壁新聞など様々な掲示物が貼られている。また、季節のイベントや学校行事に合わせて、生徒たちが作った装飾が飾られることもある。廊下の壁沿いには生徒たちの荷物を置くための小型ロッカーが置かれている。

【演出】：クラスの雰囲気はどうだろうか、和やかだろうか、それとも緊張感があるだろうか、あるいはギスギスしているだろうか。

### 2：図書室（2階）

教室よりもかなり広い部屋の中に、本棚がいくつも並んでいる。さまざまなジャンルの本が整然と並んでいる。また雑誌や新聞用の書架もある。入り口近くには貸出カウンターがあり、図書委員の生徒が本を貸出しや、返却作業を行っている。机には、静かに本を読んだり、自習したりしている学生が何人もいる。

【演出】：ここには【脇役】がいる。【脇役】はどんな本を読んでいるだろうか、小説だろうか、図鑑だろうか、あるいは教科書と参考書だろうか。

### 3：コンピュータ室（2階）

授業で調べものをするときや、プログラミングの授業時に使うコンピュータが置かれている。他にもモニター、キーボード、マウスなどのセットが、机の上にたくさん置かれている。プリンタや、各パソコンをネットに接続するための機器もある。

【演出】：電源は入っているだろうか、コンピュータを使っている人が誰かいるだろうか。それとも誰もいないのに、モニタだけがついているような状況だろうか。

### 4：美術室（2階）

広々としていて、壁には生徒たちの作品が飾られている。大きな窓からは自然光が差し込み、創作活動に適した環境が整っている。絵の具や筆、キャンパス、彫刻刀などの道具がしまわれている棚があり、その上にはデッサン用の石膏像が置かれている。また、美術室の隅には、参考資料として使われる美術書や雑誌が置かれた本棚がある。

【演出】：美術室の様子はだろうか、静かだろうか、恐ろしげだろうか、あるいは夕暮れの光が差し込んでいるだろうか。

### 5：屋上

屋上からは学校の周囲の景色が一望できる。事故が起こらないよう高いフェンスが設置されているが、空は広く開けていて、ここで雲の流れや星空の観察が行われることもある。休憩用のベンチや、季節の花が植えられたプランターがあるため、昼休みに屋上に来て、昼食をとる生徒もいる。

【演出】：今の天気はどうだろうか。天気は今の空気や人の心を暗示するかもしれない。

### 6：体育館（校舎外）

天井が高く、広々としている。大きな窓から自然光が差し込み、様々な競技のラインが引かれた木製の床を照らしている。大

きなシャッター型の扉の先には体育用具室が備え付けられていて、各種球技用のボールや、バレーボール用のネット、バドミントンや卓球のラケットなどがしまわれている。

**【演出】**：いま体育館で主に活動しているのはどの部活動だろうか、それとも今はもう無人だろうか。

## 7：運動場（校舎外）

ほぼ全域を使って陸上用トラックがあり、そのトラックの1部を利用して100メートル直線路が用意されている。野球やサッカーをする際には、トラック上にベースやゴールを設置して行う。放課後には、運動部の学生たちが練習をしており、活気が感じられる場所になる。一角には倉庫があり、ボールやハードル、バトンなどが整然と並べられている。周囲には、小さなベンチがいくつかあり、学生たちが休憩したり、友達とおしゃべりを楽しんだりする場所となっている。

**【演出】**：ここに**【脇役】**がいるのを目にする。その**【脇役】**はここで何をしているところだろうか。

## 8：正門（校舎外）

学校の正門は大きな鉄製の門で、登校時や下校時には多くの生徒が行き交う。門の両側には花壇があり、季節の花が咲いている。門の近くには、学校の名前が刻まれた石碑が立っていて、新入生や訪問者を迎えるシンボルとなっている。門に入った先には自転車置き場もあり、多くの生徒が自転車で通学している。

**【演出】**：離れたところに**【脇役】**が2人いて話しているのを見かける。**【脇役】**を2人登場させ、どんな様子で話しているかを決めよう。そして、あなたたちが近づくころには**【脇役】**たちは別れて別行動をし始める。話を聞けるのはどちらか1人だろう。

## 9：岡野文房具店

学校の近くにある小さな文房具店。店内にはノートやペン、消しゴムなどの文房具、書道用の筆や半紙が所せましと並んでいる。店主は親切で、学生たちが必要なものを探すのを手伝ってくれる。店の一角には、学校指定の教科書や参考書も販売されている。放課後には多くの生徒が訪れる。

**【演出】**：店内には今日も生徒が来ている。棚の向こう側から聞こえてくるのは、どんな会話だろうか、あるいは何かの噂だろうか。

## 10：スタディスペース

公民館の一角に設けられた学生用のスペース。広々とした部屋には、大きな机と椅子が並び、自由に使えるWi-Fiが完備されている。壁には勉強に役立つポスターや資料が貼られていて、静かな環境で集中して勉強できる。放課後や休日には、多くの学生がここで勉強している。通路を挟んだ反対側に学生以外の利用者用スペースがある。

**【演出】**：ここで**【脇役】**を目にする。学校外だからだろうか、その姿あるいは態度はちょっと意外なものだった。**【脇役】**はどんな様子だろうか。

◆ 【現象】

A

- » 物の位置が変わっている
- » 電波の送受信が突然不安定になる
- » 知人が恐ろしいことを言っているのを、こっそり目撃する

2

- » どこからか聞こえてくる「私はここにいる」の声
- » 誰かの電子メールアカウントに、チェーンメールが届く
- » 火が急に大きくなり、火傷しそうになる

3

- » スマホやパソコンを使っていると、勝手に文字が入力される
- » 後ろをつけてくる足音が聞こえる
- » 【脇役】が何かを焼いているのを目にする

4

- » 知っている人物が恐ろしいことをしているのを、こっそり目撃する
- » 警告が書かれている
- » 持っていた手紙にルールが書き込まれている

5

- » 夜中に来ていた電話の不在着信にいま気がつく
- » 突然、【脇役】が貧血を起こす
- » こちらを覗いている眼に気づく

6

- » 動物が急に唸り声を上げる
- » 昨日の夜、嫌な夢を見た。このことを皆に話そう
- » 時計がある時刻で止まっている

7

- » 持っていた手紙に何かが書き込まれている
- » 車の急ブレーキの音が聞こえる
- » 暗闇の中に何かがいる気がする

8

- » 誰かの影が奇妙な動きをしたことを目撃する
- » 昨日の夜、「助けて」という声を聴いた。このことを皆に話そう
- » 電気が急に点滅する

9

- » 撮影した写真に写りこむ黒い影
- » 視線を感じる
- » 急に寒くなる

10

- » 誰かのスマホが突然故障する（次の日には調子が戻る）
- » 机や下駄箱、鞆の中に手紙が入っている
- » 文字を読んでいると、それを音読するよいうな声が【場所係り】にだけ聞こえる

## ♣ 【手がかり】

### A

- » 「7日間毎日、自分の影の写真を撮ってください」というルール
- » 気になる言葉が書かれたしおり
- » 過去の新聞記事の切り抜き

### 2

- » 「赤いリボンを常に持ち歩いてください。」というルール
- » 「私はここにいる」と書かれた便せん
- » オカルト系のホームページ

### 3

- » 「7つの廃墟の写真を各7枚撮影してください。」というルール
- » 「助けて」という声が録音されたデータ
- » 単語の書き間違い

### 4

- » 「赤いリボンを学校の図書室に隠してください。」というルール
- » チェーンメールのせいで他校の生徒が事故死したという噂
- » 筆跡の一致

### 5

- » 「自分の絵を描き、それを燃やしてください。」というルール
- » 「呪い」という言葉だけが届くショートメールの噂
- » 手書きのメモ付きの地図

### 6

- » 「友人に秘密を打ち明けてください。」というルール
- » 何かを焼いたあと
- » 文芸部の年会誌

### 7

- » 「夜の十字路で『助けて』と3回叫んでください。」というルール
- » 人の影の写真だけが投稿されているSNSアカウント
- » 以前、不幸の手紙を受け取った人の証言

### 8

- » 「『私はここにいる』とメッセージを送ってください。」というルール
- » 廃墟を写したポラロイド写真
- » 学校の文集

### 9

- » 手振れの激しい、動画サイトにあがっているショート動画
- » メールの下書きフォルダ
- » 隠されていた赤いリボン

### 10

- » 相談者が悩みを打ち明けたインターネットの掲示板
- » 不気味な人影が写っている心霊写真
- » 卒業アルバム

♠ 【脇役】

<sup>むらかみ うみ</sup>  
**A：村上海末**

男性。1年生。陸上部。得意な距離は長距離。内向的で、少し臆病。好奇心はあるが、行動に移すのが苦手である。趣味はゲームで、特に背景や設定描写が緻密なオープンワールドのアクション・コンピュータRPGが好き。

「な、なんて、そんなことを僕に聞くんですか？」  
「呪われたら死んじゃうんですよ。じゃあ、他の人に送るのもしょうがないと思います」

<sup>さとう みか</sup>  
**2：佐藤三佳**

女性。1年生。美術部。特に水彩画やデジタルアートに興味を持ち、放課後に美術室やコンピュータ室で作品制作に没頭していることが多い。彼女の作品は色彩豊かで、部内でも高く評価されている。

「友達から聞いたことがあります。同じ苗字の人が不幸な目に遭うのって、なんか嫌な感じでした」  
「まあ、よくある名字だからでしょうけど」

<sup>しま まさよし</sup>  
**3：島政義**

男性。2年生。映画研究同好会。スマホで撮影するシュールなショート動画の脚本を何本か書いている。独自の視点から物事を捉える才能があるが、最近はスランプに陥っていて、新作の脚本がなかなか完成しないことに悩んでいる。

「気になるんだよ。手紙の最後が無いのは、故意なのか、ミスなのか、そもそも最初からなかったのか」  
「手紙を止めたなら何が起こると思う？」

<sup>まつもと ゆみ</sup>  
**4：松本 柚美**

女性。2年生。図書委員会。大人しく読書好き。図書室の受付当番でない日も図書館で静かに本を読んでいることが多い。大勢の前で話すことが苦手で、クラスの発表の際には緊張してしまう。

「知ってますか？ 不幸の手紙をテーマにした小説もあるんです。ご紹介しましょうか？」  
「ルールを考えるのって面白いですよ。漫画や小説にもルールにこだわったものがけっこうあるんですよ」

<sup>やまがみ そう</sup>  
**5：山上 宋**

男性。2年生。チェス部。大胆な戦術を使うことで、部内で知られている。彼のプレイスタイルは攻撃的で、相手を驚かせるような戦術を駆使する。学校での成績も上位。論理的で冷静な性格だが、少し皮肉屋でもあり、時折辛辣なコメントをすることがある。

「呪い？ バカバカしい、もちろんそんなもの信じてないよ」  
「でもさあ、誰に不幸の手紙を送ったら一番面白いかってことは考えちゃうよね……」

## 6: <sup>みやの れいな</sup>宮野 嶺奈

女性。3年生。文芸部。現代を舞台にしたミステリ短編を書いているが、だいたいの短編も後味の悪い終わり方をするので、もうちょっとハッピーエンドに寄せてほしいと他の部員からよく言われている。

「けっこう凝った内容ですね。もとの文章を考えた人は、ずいぶんと考えたことでしょう」

「でも、そうやって苦心して考えたルールがあつさり端折られたら、その人はどう思うでしょうね」

## 7: <sup>はやし だいすけ</sup>林 代助

男性。3年生。バスケットボール部。運動神経が良く、部活でも活躍している。学級委員をやっている、クラスメートから頼られる存在である。不幸の手紙の呪いは信じておらず、強い嫌悪感を持っている。

「不幸の手紙かー、俺、あれ大嫌いなんだよね」

「小学校の時のクラスがそれで揉めてさ、えらく居心地悪くなつたの覚えてるんだよね」

## 8: <sup>かとう しんご</sup>加藤 慎吾

男性。3年生。写真部。一眼レフが欲しいが買えないので、スマホでいろいろ写真を撮っているうちに、スマホでの撮影技術に詳しくなった。彼に撮影の設定を聞く生徒も多い。

「写真ある？ だったら、どこで撮つたかわかるかも」

「こりゃスマホアプリ使つたトリック写真だね。使つたアプリ名も想像できるけど聞きたい？」

## 9: <sup>ほさか かえで</sup>保坂 楓

女性。3年生。書道部。控えめな性格で口数は少ない。漢字を書くよりも、ペンや細い筆で平仮名を書く方を好む。神経質で、細かい違いにもよく気がつく。

「雑な字ですね。書きたくもない字を書いているという感じが伝わってきます」

「この手紙の平仮名の書き方……間違いなく、書道の心得がある人の筆跡です」

## 10: <sup>こくれ ゅうこ</sup>小暮 夕子

女性。20代後半。国語教師。彼女の授業はいつも活気に満ちていて、生徒たちが積極的に参加するよう工夫されている。好きなものは紅茶。好きな作家は夏目漱石や芥川龍之介など。

「不幸の手紙……、懐かしいです。まだあつたんですね、その文化」

「お互いに手紙を出し合おうという国語の課題がありますから、生徒たちが住所を知っているのはあかしなことではありません」